

令和3年度事業計画書
(令和3年12月1日から令和4年11月30日まで)

特定非営利活動法人W・Yチャレンジパートナー

1 事業実施の方針

当法人は、主として高齢者様対象に回想法による認知症予防事業講座を開催し活動しています。しかしながら令和2年2月下旬に講座開催予定施設様から「しばらくお休みして頂きたい。」と連絡を頂きましてから約2年経過し今日に至っております。

その為に令和3年度松山市市民活動「国民の健康寿命が延伸する社会」に向けた高齢者への介護予防としての活動は出来ませんでした。

その様な中でも、時々施設の担当者さんとコンセプトを取りながら当法人の活動資料をお届けし、又ご相談もお受けさせて頂きました。

令和元年度は講座開催で、延べ1,000人の高齢者の皆さんとの楽しい時間を過ごさせて頂きました。

しかし、令和4年度もこの様なコロナ禍の中で当法人も一喜一憂している次第です。高齢者の皆さんは特に認知症を恐れています。

当法人もこれからも尚一層、活動のアイテムそして内容をより充実し”適材適所”での活動を致す所存です。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	事業費の予算額(千円)
1, 回想法による認知症予防事業	右記の通り	6月～11月 各月 各2回 (計12回)	松山市 トータルケアサ ポート 花みずき	1回につき 2名	施設利用者 (グループホーム・有料老人ホーム)	謝金・旅費交通費 57,120円
1, 回想法による認知症予防事業	右記の通り	6月、1回 9月、1回 11月、1回 (計3回)	松山市 ふゆうちゃあ	1回につき 2名	施設利用者 1回につき 約25人	謝金・旅費交通費 19,080円
1, 回想法による認知症予防事業	右記の通り	7月、1回 10月、1回 (計2回)	松山市 ディサービス 寧音	1回につき 2名	施設利用者 1回につき 約20人	謝金・旅費交通費 12,720円
1, 回想法による認知症予防事業	右記の通り(傾聴)	6月、7月 9月、10月 11月 各月 1回 (計5回)	伊予市 いよあいじゅ様	1回につき 2名	施設利用者	謝金・旅費交通費 10,000円
1, 回想法による認知症予防事業	右記の通り(傾聴)	7月 1回 10月 1回 (計2回)	伊予市 伊予あいじゅ 新川様	1回につき 2名	施設利用者	謝金・旅費交通費 4,200円
1, 回想法による認知症予防事業	右記の通り(傾聴)	6月、1回 9月、1回 (計2回)	伊予市 ユニット伊予	1回につき 2名	施設利用者	謝金・旅費交通費 3,000円
1, 回想法による認知症予防事業	右記の通り(傾聴)	7月、1回 10月、1回 (計2回)	伊予市 ディサービス たちばな	1回につき 2名	施設利用者	謝金・旅費交通費 3,000円
1, 回想法による認知症予防事業	右記の通り(傾聴)	6月、7月、 9月、10月、 11月、 各月 1回 (計5回)	伊予市 井上様	1回につき 2名	個人様宅	謝金・旅費交通費 7,500円
2, 回想法活用の教育・研修事業育	実施なし					

3, 自分史作成サポート	実施なし					
4, コミュニケーションづくり・交流事業			松山市ボランティア協会			旅費交通費 880円
5, その他、この法人の目的を達成するための必要な事業			松山市ボランティア協会			旅費交通費 880円
	合 計					118,380円

令和3年度 活動予算書
(令和3年12月1日から令和4年11月30日まで)

特定非営利活動法人W・Yチャレンジパートナー

科 目	金 額 (単位:円)	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	0	
賛助会員受取会費	0	
.....		0
2 受取寄附金		
受取寄附金	200,000	
施設等受入評価益	0	
.....		200,000
3 受取助成金等		
受取民間助成金	0	
.....		0
4 事業収益		
〇〇事業収益	0	
5 その他収益		
受取利息	0	
雑収益	0	
.....		0
経常収益計		200,000
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
役員報酬	0	
給料手当	0	
法定福利費	0	
退職給付費用	0	
福利厚生費	0	
.....		
人件費計	0	
(2) その他経費		
謝金	75,000	
旅費交通費	43,380	
文具代	3,000	

印刷代	3,000		
消耗品費	7,000		
通信費	60,000		
雑費	3,000		
諸手数料	1,000		
会費	2,000		
その他経費計	197,380		
事業費計		197,380	
2 管理費	0		
(1)人件費	0		
役員報酬	0		
給料手当	0		
法定福利費	0		
退職給付費用	0		
福利厚生費	0		
.....			
人件費計	0		
(2)その他経費			
会議費	12,000		
旅費交通費	9,440		
施設等評価費用	0		
減価償却費	0		
支払利息	0		
.....			
その他経費計	21,440		
管理費計		21,440	
経常費用計			218,820
当期経常増減額			-18,820
III 経常外収益			
1 固定資産売却益	0		
.....			
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
1 過年度損益修正損		0	
.....			
経常外費用計			0
当期正味財産増減額			-18,820
前期繰越正味財産額			-180,913
次期繰越正味財産額			-199,733

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 2 設立当初の事業年度及び翌事業年度の活動予算書はそれぞれ別に作成する。
- 3 設立時の資金がある場合は、設立当初の事業年度に設立時正味財産額としてその額を記載する。翌事業年度以降は、前年度の活動予算書に次期繰越正味財産額として掲げた額を、前期繰越正味財産額として記載する。
- 4 事業費及び管理費は、それぞれ人件費及びその他経費に区分したうえで、形態別に表示する。
- 5 特に、経常費用の規模（事業費＋管理費）でみた特定非営利活動に係る事業の割合、経常費用

額に占める管理費の割合等は、特定非営利活動を行うことを主たる目的とすること、営利を目的としないものであることという法定要件への適合性の判断材料となる。

6 2部作成する。